News & topics エイジング・イン・プレイス等に関する日米共同研究会開催、TRC 会合参加、調査研究成果の公表、各研究官等の活動報告

キーワード エイジング・イン・プレイス、TRC、物流、スマートシティ

1. エイジング・イン・プレイス等に関する日米共同研究会を米国で開催しました□□□□□□□

国土交通省では、米国住宅都市開発省(United States Department of Housing and Urban Development)、(独)都市再生機構と3者で本年7月に締結した協力覚書に基づき、エイジング・イン・プレイス(高齢者の地域居住)や気候変動に対応したまちづくり、スマートシティ等をテーマとした共同研究を行っています。

2023 年 9 月 26 日から 28 日にかけて、米国(シアトル)において、第 11 回日米共同研究会が開催されました。エイジング・イン・プレイス(高齢者の地域居住)や気候変動に対応したまちづくり、スマートシティ等に関する米国の取組について、視察や意見交換を行ったほか、国土交通政策研究所より日本の取組事例について紹介しました。

TRC(交通研究委員会)会合では、次期共同研究プログラムである「POW2024-25」に関する最終的な議論が行われ、活発な議論の後、3 つのワーキンググループ、8 つのラウンドテーブルからなる研究テーマが決定されました。また、各種のワークショップやジョイントセッションを実施しました。

次回の第 15 回 TRC 会合等は、2024 年 3 月 18 日の週に OECD 本部(パリ)で開催され、ワーキンググループやラウンドテーブルの報告書の採択等が行われる予定です。

- 1)調査研究報告書の公表

以下の調査研究成果の報告書を公表しました。 ⇒報告書の掲載ページはこちら

- 地域の輸送資源を活用した物流ネットワーク最適化に関する調査研究(最終報告) (2023.10)
- 2)国土交通政策研究所紀要(PRI Review) HP 先行公開 紀要に掲載予定の 2023 年度調査研究成果を順次、ホームページで先行公開しています。 ⇒先行公開論文はこちら
- スマートシティの海外展開に係る情報発信に関するサーベイ(2023.9.25)
- 伊藤主任研究官が執筆した「既存戸建て住宅の流通・活用促進に向けて~世田谷区の戸建 て空き家所有者の意向調査より~」が不動産政策研究 2023 年秋号(RETIO. NO.131)

に掲載されました。(2023.10.27)

- 南主任研究官、竹内主任研究官が、宇都宮大学で開催された第 26 回日本福祉のまちづくり学会全国大会にて、「社会的イノベーションの費用負担に対する財政の役割 ~フランス交通税の経験から~」「公共交通の確保やサービス提供に関するしくみへの考察(欧州施策からみる日本への示唆)」について、それぞれ研究発表しました。(2023.9.30)

 →プログラムはこちら
- 南主任研究官、竹内主任研究官が、宇都宮大学で開催された第 26 回日本福祉のまちづくり学会全国大会連携セミナー「LRT を軸に地域の移動と交通を考える」にて、「都市イノベーションとしての LRT 導入 グルノーブル、モンペリエの事例から」「海外の交通まちづくり英国の最近のバス事情、SUMP」について、それぞれ講演を行いました。(2023.9.29)

 →詳細はこちら
- 竹内主任研究官が、マレーシア・クアラルンプールにて開催されたアジア交通学会(EASTS) 第 15 回国際会議において、「Factors Affecting the Sustainability of Transportation Passenger Services with Private Autos (Paratransit) in Japan」を研究発表しました。(2023.9.7)

国土交通政策研究所ニュースレター

発行:国土交通省 国土交通政策研究所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 四谷タワー15 階

Tel 03-5369-6002(代)

担当 総務課情報管理係(内線 106) hgt-prilit@ki.mlit.go.jp

WEB:https://www.mlit.go.jp/pri/

※ニュースレターの定期配信をご希望の方は、ご所属・お名前・送付先メールアドレスをご記入の上、hqt-prilit@ki.mlit.go.jp 宛てにご連絡ください。